

2026年(令和8年)1月オホーツク管内倒産集計

令和8年2月3日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

1月の発生ゼロは3年ぶり

昨年9月から5か月連続で発生なし

■前月比	件数	同数(令和7年12月)	0件)
	負債総額	同額(〃)	0円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件減少(令和7年1月)	1件)
	負債総額	50,000万円減少(〃)	50,000万円)

2026年(令和8年)1月の発生状況

2026年1月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生ゼロとなり、昨年9月以来5か月連続で倒産発生が見られていない。

昨年1月は建設資材卸売業者(佐呂間町)が負債総額5億円で破産手続開始決定を受け、不穏な空気の漂う1年のスタートとなっていたが、今年は静かな幕開けとなった。

過去5か年における1月の倒産発生は21年0件、22年0件、23年0件、24年1件、25年1件で平均発生件数は0.4件。同負債総額は1億1,028万円。

過去5年間と今年1月の発生推移

過去5年間の1月の発生推移は【右・表】の通りで、発生件数はいずれもゼロ件または1件で推移し平均発生件数は0.4件。同負債総額は1億1,028万円となっている。

これまでの推移から1月は比較的倒産件数の少ない月であり、今年は3年ぶりに発生がゼロとなった。

過去5年間と今年1月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2021年	0件	0円
2022年	0件	0円
2023年	0件	0円
2024年	1件	5,142万円
2025年	1件	50,000万円
2026年	0件	0円

今後の見通しと問題点

昨年は各種エネルギー価格をはじめとする物価の高騰や深刻な人手不足などの経営課題に加え、景気の先行き不安感や金利上昇の影響がジワジワと忍び寄り、後半にかけては物価高騰の流れも加速して企業の収益圧迫や個人の消費マインド低下にも拍車をかけた。今年に入ってから早々に衆議院の解散総選挙へと突入したことで各市場に混乱が生じ、まだまだ先行きは見通せない状況にあるが、各政党が掲げる経済活性化や物価の安定さらには国民の実質所得増加の実現へとつなげ、国内全体の消費マインド回復ひいては中小事業者の経営安定化へと発展することを願うばかりだ。

ここオホーツク管内は、昨年9月以降は小康状態を保ち5か月連続で倒産発生がゼロとなるなど改善の兆候も見られている。ただ、当地においても例外なく物価高騰・高止まりや深刻な人手不足など取り巻く環境が厳しさを増しており、北見市の財政問題なども相俟ってまだまだ先行き不透明感が拭えない状況が続いている。各中小事業者においては人材確保に向けた取り組みに注力する他、事業の再構築など生き残りに向けた新たな展開も必要となってくるのではないだろうか。

2026年(令和8年)倒産整理企業の集計表

月/日	商号	代表者	所在地	業種	負債額(万円)	主要因	動向

月別	件数	負債額
1月	0 件	0 万円
2月	件	万円
3月	件	万円
4月	件	万円
5月	件	万円
6月	件	万円
7月	件	万円

8月	件	万円
9月	件	万円
10月	件	万円
11月	件	万円
12月	件	万円
合 計	0 件	0 万円
令和7年	1 件	50,000 万円
前年対比	▲ 1 件	▲ 50,000 万円

[illegible][illegible][illegible][illegible]